

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2009-232017

(P2009-232017A)

(43) 公開日 平成21年10月8日(2009.10.8)

(51) Int.Cl.	F I	テーマコード (参考)
HO4N 1/32 (2006.01)	HO4N 1/32 Z	5C062
HO4N 1/00 (2006.01)	HO4N 1/00 107Z	5C075
HO4M 1/56 (2006.01)	HO4M 1/56	5K036

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 23 頁)

(21) 出願番号	特願2008-73042 (P2008-73042)	(71) 出願人	000005496
(22) 出願日	平成20年3月21日 (2008.3.21)		富士ゼロックス株式会社
			東京都港区赤坂九丁目7番3号
		(74) 代理人	110000039
			特許業務法人アイ・ピー・エス
		(72) 発明者	瀬戸 紀子
			神奈川県海老名市本郷2274番地 富士
			ゼロックス株式会社内
		Fターム(参考)	5C062 AA02 AA29 AA30 AB17 AB20
			AB23 AB38 AC02 AC38 AF02
			5C075 BA08 BA13 BA15
			5K036 AA15 BB13 CC02 DD01 DD04
			DD16 DD25 DD38 JJ03 KK09

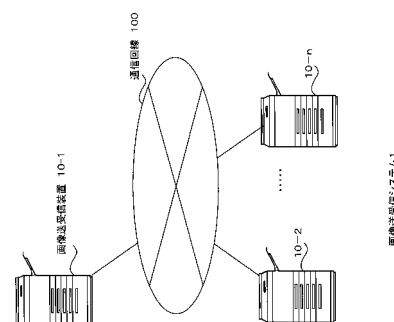
(54) 【発明の名称】 画像送信装置、ファクシミリ装置およびプログラム

(57) 【要約】

【課題】送信の中止を行った場合に、容易に再送信を行うことができるように改良された画像送信装置、ファクシミリ装置およびプログラムを提供する。

【解決手段】本発明に画像送信装置は、送信先の宛先を指示する宛先指示手段と、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示された後に、送信を中止するよう指示する送信中止指示手段と、前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、新たに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指示手段とを有する。前記宛先指示手段は、指示するための宛先を受け入れる宛先受け入れ手段と、確認のための宛先を受け入れる宛先確認受け入れ手段とを更に有し、前記宛先受け入れ手段により受け入れられた宛先と、前記宛先確認受け入れ手段により受け入れられた宛先が同じである場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

送信先の宛先を指示する宛先指示手段と、

前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示された後に、送信を中止するよう指示する送信中止指示手段と、

前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、新たに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指示手段と

を有する

画像送信装置。

10

【請求項 2】

前記宛先指示手段は、

指示するための宛先を受け入れる宛先受け入れ手段と、

確認のための宛先を受け入れる宛先確認受け入れ手段と

を更に有し、

前記宛先受け入れ手段により受け入れられた宛先と、前記宛先確認受け入れ手段により受け入れられた宛先が同じである場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する

請求項 1 に記載の画像送信装置。

【請求項 3】

前記宛先受け入れ手段が、数字によるボタンが押下されることにより宛先を受け入れた場合に、前記宛先確認受け入れ手段は、確認のための宛先を受け入れる

20

請求項 2 に記載の画像送信装置

【請求項 4】

前記宛先指示手段は、

指示するための宛先を受け入れる宛先受け入れ手段と、

前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合に、確認のための宛先を受け入れる宛先確認受け入れ手段と

を更に有し、

前記宛先受け入れ手段により受け入れられた宛先と、前記宛先確認受け入れ手段により受け入れられた宛先が同じである場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する

30

請求項 1 に記載の画像送信装置。

【請求項 5】

前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示される前に、送信先の宛先の確認表示を行う宛先確認表示手段を更に有し、

前記宛先確認表示手段が、送信先の宛先の確認表示を行った場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する

請求項 1 に記載の画像送信装置。

【請求項 6】

前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に、複数の異なる宛先が含まれている場合に、前記宛先確認表示手段は、前記確認表示を行う

40

請求項 5 に記載の画像送信装置。

【請求項 7】

画像の読み取りを行う画像読取手段と、

送信先の宛先を指示する宛先指示手段と、

前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に、前記画像読取手段により読み取られた画像の送信が指示された後に、送信を中止するよう指示する送信中止指示手段と、

前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、前記画像読取手段により新たに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指示手段と

を有する

50

ファクシミリ装置。

【請求項 8】

コンピュータを含む画像送信装置において、
送信先の宛先を指示する宛先指示ステップと、

前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示された後に、送信を中止
するよう指示する送信中止指示ステップと、

前記送信中止指示ステップにより送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段に
よる宛先を維持した状態で、新たに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指
示ステップと

を前記画像送信装置のコンピュータに実行させるプログラム。

10

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、画像送信装置、ファクシミリ装置およびプログラムに関する。

【背景技術】

【0002】

例えば、特許文献 1 は、ファクシミリ装置において、宛先のダイヤル番号を 2 回入力さ
せ 1 回目と 2 回目の入力内容が一致しなければ送信が行われなくする方法を開示す
る。

また、特許文献 2 は、ファクシミリ送信開始指示を行なった後でも、送信宛先の誤りに
気が付いたときには容易に送信宛先を訂正できるファクシミリ装置を開示する。

20

【特許文献 1】特開平 02-200058

【特許文献 2】特開平 08-102836

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【0003】

本発明は、上述した背景からなされたものであって、送信の中止を行った場合に、容易
に再送信を行うことができるように改良された画像送信装置、ファクシミリ装置およびプ
ログラムを提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

30

【0004】

上記目的のために、本発明に画像送信装置は、送信先の宛先を指示する宛先指示手段と
、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示された後に、送信を中止
するよう指示する送信中止指示手段と、前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示
された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、新たに取り込まれた画像を
送信するように指示する再送信指示手段とを有する。

【0005】

好適には、前記宛先指示手段は、指示するための宛先を受け入れる宛先受け入れ手段と
、確認のための宛先を受け入れる宛先確認受け入れ手段とを更に有し、前記宛先受け入れ
手段により受け入れられた宛先と、前記宛先確認受け入れ手段により受け入れられた宛先
が同じである場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する。

40

【0006】

好適には、前記宛先受け入れ手段が、数字によるボタンが押下されることにより宛先を
受け入れた場合に、前記宛先確認受け入れ手段は、確認のための宛先を受け入れる。

【0007】

好適には、前記宛先指示手段は、指示するための宛先を受け入れる宛先受け入れ手段と
、前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合に、確認のための宛先を受
け入れる宛先確認受け入れ手段とを更に有し、前記宛先受け入れ手段により受け入れられ
た宛先と、前記宛先確認受け入れ手段により受け入れられた宛先が同じである場合に、前
記再送信指示手段は、送信を指示する。

50

【0008】

好適には、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示される前に、送信先の宛先の確認表示を行う宛先確認表示手段を更に有し、前記宛先確認表示手段が、送信先の宛先の確認表示を行った場合に、前記再送信指示手段は、送信を指示する。

【0009】

好適には、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に、複数の異なる宛先が含まれている場合に、前記宛先確認表示手段は、前記確認表示を行う。

【0010】

また、本発明にかかるファクシミリ装置は、画像の読み取りを行う画像読取手段と、送信先の宛先を指示する宛先指示手段と、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に、前記画像読取手段により読み取られた画像の送信が指示された後に、送信を中止するよう指示する送信中止指示手段と、前記送信中止指示手段により送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、前記画像読取手段により新たにに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指示手段とを有する。

10

【0011】

また、本発明にかかるプログラムは、コンピュータを含む画像送信装置において、送信先の宛先を指示する宛先指示ステップと、前記宛先指示手段により指示された送信先の宛先に送信が指示された後に、送信を中止するよう指示する送信中止指示ステップと、前記送信中止指示ステップにより送信中止状態に指示された場合、前記宛先指示手段による宛先を維持した状態で、新たにに取り込まれた画像を送信するように指示する再送信指示ステップとを前記画像送信装置のコンピュータに実行させる。

20

【発明の効果】

【0012】

本発明にかかる画像送信装置、ファクシミリ装置およびプログラムによれば、送信の中止を行った場合に、容易に再送信を行うことができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【0013】

〔本発明がなされるに至った背景〕

まず、本発明にかかる画像送信装置の理解を助けるために、その実施形態の説明に先立ち、本発明がなされるに至った背景を説明する。

30

ユーザは、ファクシミリ装置を利用して原稿（画像）を送信する場合に、送信開始後に宛先の誤りに気づいた時に、送信を中止することができる。

上記のように送信が中止された場合、ユーザは、宛先を入力し直し、再度原稿を送信する。

しかしながら、ユーザは、例えば、送信の対象である原稿に誤りを発見した場合においても、送信を中止し、所望の原稿に取替え、宛先を入力し直し、再度原稿を送信する。

つまり、ユーザは、宛先の誤り以外の原因で送信を中止した場合においても、宛先を再度入力し直さなければならない。

本発明は、このような点に着目し、宛先以外の要因により送信の中止を行った場合に、容易に再送信を行うことができるように工夫がされている。

40

【0014】

〔第1の実施形態〕

以下、本発明の第1の実施形態として、画像送受信システム1を説明する。

図1は、本発明にかかる画像送受信システム1の構成を例示する図である。

図1に示すように、画像送受信装置10-1～10-nは、公衆回線網、インターネット網等の通信回線網100を介して相互に接続されている。

なお、nは1以上の整数を示す。

また、画像送受信装置10-1～10-nなど、複数ある構成部分のいずれかを示すときは、単に、画像送受信装置10と示すことがある。

また、以下の各図において、実質的に同じ構成部分・処理には、同じ符号が付される。

50

【0015】

画像送受信装置10-i ($1 \leq i \leq n$)は、スキャナ等の画像読み取り装置により読み取ったファクシミリの原稿の画像データを、通信回線網100を介して通信相手の画像送受信装置10-j ($1 \leq j \leq n, i \neq j$)に送信する。

また、画像送受信装置10-iは、同一の画像データを、同時に、複数の画像送受信装置10-j, 10-k ($1 \leq k \leq n, i \neq j \neq k$)などに送信を行ってもよい。

また、画像送受信装置10-iは、通信回線網100を介して受信した画像データに基づいた画像を出力する。

画像送受信装置10の具体的な例としては、ファクシミリ装置、ファクシミリ機能および複写機能を有するプリンタなどの様々な形態が存在する。

10

【0016】

〔ハードウェア構成〕

図2は、本発明の実施形態に係る画像送受信装置10の構成を示す図である。

図2に示すように、画像送受信装置10は、画像形成装置本体12、画像読取装置14及び後処理装置16を有する。

【0017】

画像形成装置本体12は、複数（例えば3段）の用紙供給部20を有し、これら用紙供給部20のそれぞれには供給ヘッド22が設けられている。

複数の用紙供給部20は、寸法及び向きが同じ、またはいずれかが異なる、または全てが異なる用紙をそれぞれ供給する。

20

例えば、3段の用紙供給部20はそれぞれ、A3、A4及びB5のサイズの用紙を供給する。

したがって、用紙は、供給ヘッド22が作動して選択された用紙供給部20から用紙搬送路24を介して像形成部26に供給される。

このようにして、用紙供給部20は、記録媒体供給手段を構成する。

【0018】

像形成部26は、例えばゼログラフィからなり、用紙搬送路24を搬送される用紙に画像を形成する。

より具体的には、像形成部26は、像保持体28と、この像保持体28の表面を一様に帯電させる帯電ロール30と、像保持体28に潜像を書き込むレーザ書込み装置32と、書き込まれた潜像を現像する現像装置34と、現像されたトナー像を用紙に転写する転写ロール36と、残留トナーをとるクリーナ38と、用紙のトナー像を定着させる定着装置40とを有する。

30

したがって、像保持体28の表面が帯電ロール30により一様に帯電され、潜像がレーザ書込み装置32により形成され、この潜像が現像装置34により現像され、転写ロール36により用紙に転写され、定着装置40により定着され、用紙が用紙排出路42から後処理装置16に出力される。

このようにして、像形成部26は、画像形成部を構成する。

【0019】

両面印刷が設定されている場合、定着装置40により一面が定着された用紙は、用紙排出路42から反転装置46に送られ、この反転装置46で反転され、用紙反転路48に送られ、再び用紙搬送路24に戻され、像形成部26に送られて他面の印刷がなされる。

40

【0020】

画像読取装置14は、ADF (Auto Document Feeder) 等の自動原稿送り装置50と、この自動原稿送り装置50により送られた原稿を読取走査するスキャナ52とを有する。

自動原稿送り装置50により原稿はプラテン54に送られ、プラテン54上でスキャナ52により原稿の画像が読み取られる。

画像形成装置10により複写が設定された場合、画像読取装置14で読み取られた画像が画像形成装置本体12により印刷されて複写される。

【0021】

50

後処理装置 16 は、例えばソータ 72、ステープラ 58 及びパンチャ 60 を有する。

ソータ 72 は、画像形成装置本体 12 から出力された印刷済みの用紙を分配路 62 に導き、複数のピン 64 に分配する。

ステープラ 58 は、画像形成装置本体 12 から出力された印刷済みの用紙を搬送路 66 を介してコンパイラトレイ 68 に次々と導き、このコンパイラトレイ 68 に重ねた用紙束の所定位置に針により固定し、スタッカ 70 に排出する。

このようにして、ステープラ 58 は、用紙を綴じる綴じ手段を構成する。

パンチャ 60 は、コンパイラトレイ 68 に重ねられた用紙束の所定位置にパンチ穴を開け、スタッカ 70 に排出する。

【0022】

10

入力・表示 (UI) 部 56 は、例えばタッチパネルからなり、画像形成装置本体 12 の例えば上部に設けられている。UI 部 56 は、使用者からの入力を受け入れて、画像形成装置本体 12、画像読取装置 14 及び後処理装置 16 の処理内容を選択し、かつ表示するようになっている。

【0023】

図 3 は、図 2 に示した制御装置 74 の構成を例示する図である。

図 3 に示すように、制御装置 74 は、CPU 102、メモリ 104、ハードディスクドライブ (HDD) 等の記憶装置 106、外部のコンピュータなどとデータの送信および受信を行う通信インタフェース (IF) 108 を有する。

これらの構成要素は、システムバス 110 を介して互いに接続されている。

20

制御装置 74 は、これらの構成により、画像送受信装置 10 の制御を行う。

【0024】

図 4 は、図 2 に示した UI 装置 56 の構成を示す図である。

図 4 に示すように、UI 装置 56 は、タッチパネルおよび液晶ディスプレイなどで構成される画面表示部 120、テンキー、クリア (C) ボタン、短縮ボタンおよびスタートボタンなどの操作ボタン群 122 から構成される。

ユーザは、画面表示部 120 に表示されたタッチパネル、および、操作ボタン群 122 を操作することにより、送信先の宛先の入力、原稿送信開始および原稿送信中止などを行うことができる。

【0025】

30

〔画像送信プログラム 2〕

以下、画像送信プログラム 2 を説明する。

図 5 は、画像送受信装置 10 で実行される画像送信プログラム 2 の構成を示す図である。

図 5 に示すように、画像送信プログラム 2 は、UI 制御部 200、命令受付部 202、送信制御部 204、送信部 206、宛先記憶部 220 および画像管理部 246 から構成される。

画像管理部 246 は、画像読取部 240、画像処理部 242 および画像記憶部 244 から構成される。

画像送信プログラム 2 は、例えば、メモリ 104 に記憶されて画像送受信装置 10 に供給され、画像送受信装置 10 の OS (図示せず) 上で、画像送受信装置 10 のハードウェア資源を具体的に利用して実行される (以下の各プログラムについても同様)。

40

【0026】

UI 制御部 200 は、図 6 および図 7 を参照して後述する画面を画面表示部 120 (図 4) に表示する。

まず、UI 制御部 200 が画面表示部 120 に表示する画面を、図 6 および図 7 を参照して説明する。

【0027】

図 6 は、UI 装置 56 の画面表示部 120 (図 4) に表示される画面を示す図であって、(A) は、ユーザが宛先を入力するための宛先入力画面 (宛先指示手段 (宛先受け入れ手

50

段))を示し、(B)は、ユーザが確認用の宛先を入力するための確認用宛先入力画面(宛先指示手段(宛先確認受け入れ手段))を示す。

図7は、画面表示部120に表示される画面を示す図であって、(A)は、原稿が送信されていることを表示する画面(送信画面)を示し、(B)は、(A)に示した中止ボタン164が押下されたときに表示される中止画面を示し、(C)は、(B)に示した原稿変更ボタン168ボタンが押下されたときに表示される画面(原稿変更後宛先確認画面)を示す。

【0028】

図6(A)に示すように、宛先入力画面は、ステータス表示領域140、宛先表示領域142、次宛先ボタン144および宛先確認入力ボタン146などを含む。

10

ステータス表示領域140は、表示画面が宛先入力画面であることを表示する。

宛先表示領域142は、ユーザにより入力された宛先を表示する。

次宛先ボタン144は、ユーザにより押下されることにより、ユーザが新たな宛先を入力するための画面(図示せず)に遷移させる。

宛先確認入力ボタン146は、ユーザに押下されることにより、図6(B)に示した確認用宛先入力画面に遷移させる。

【0029】

図6(B)に示すように、確認用宛先入力画面は、次宛先ボタン144、ステータス表示領域150、確定用宛先表示領域152および確定ボタン154などを含む。

20

ステータス表示領域150は、表示画面が確認用宛先入力画面であることを表示する。

確定用宛先表示領域152は、ユーザにより確認のために入力された宛先(確認用宛先情報)を表示する。

確定ボタン154は、ユーザにより押下されることにより、入力された確認用宛先情報を確定し、図6(A)に示した宛先入力画面に遷移させる。

【0030】

図7(A)に示すように、送信画面は、ステータス表示領域160、閉じるボタン162及び中止ボタン164(送信中止指示手段)などを含む。

ステータス表示領域160は、表示画面が、送信画面であることを表示する。

閉じるボタン162は、ユーザにより押下されることにより、送信画面を閉じる。

中止ボタン164は、ユーザにより押下されることにより、図7(B)に示した中止画面に遷移させる。

30

【0031】

図7(B)に示すように中止画面は、ステータス表示領域166、原稿変更ボタン168(再送信指示手段)および継続ボタン170などを含む。

ステータス表示領域166は、表示画面が中止画面であることを表示し、またユーザへの指示を表示する。

原稿変更ボタン168は、ユーザが、入力した宛先を維持しつつ原稿を読み直して継続したい場合に押下するボタンである。

原稿変更ボタン168は、ユーザにより押下されることにより、図7(C)に示した原稿変更確認画面に遷移させる。

40

継続ボタン170は、送信を継続するためのボタンであり、ユーザにより押下されると、送信は、中止された時点から再び開始され、図7(A)に示した送信画面に遷移させる。

【0032】

図7(C)に示すように原稿変更後宛先確認画面は、ステータス表示領域172、スタートボタン174、キャンセルボタン176および宛先確認領域178などを含む。

ステータス表示領域172は、表示画面は原稿変更後宛先確認画面であることを表示し、また、ユーザへの指示を表示する。

スタートボタン174は、ユーザにより原稿が変更された後に押下されることにより、原稿が読み直され、送信が継続され、図7(A)に示した送信画面に遷移させる。

50

キャンセルボタン１７６は、ユーザにより押下されることにより、図７（Ｂ）に示した中止画面に遷移させる。

宛先確認領域１７８は、ユーザにより入力された宛先を確認のために表示する。

【００３３】

ＵＩ制御部２００（図５）は、図６（Ａ）、（Ｂ）および図７（Ａ）、（Ｂ）、（Ｃ）に示した画面をＵＩ装置５６の画面表示部１２０に表示する。

また、ＵＩ制御部２００は、ＵＩ装置５６を介して入力された宛先情報を、宛先記憶部２２０に対して出力する。

また、ＵＩ制御部２００は、ＵＩ装置５６の操作ボタン群１２２および画面表示部１２０のタッチパネルなどから入力された操作命令を、命令受付部２０２に対して出力する。

また、ＵＩ制御部２００は、送信制御部２０４からの制御に基づいた画面を画面表示部１２０に表示する。

【００３４】

具体的には、ＵＩ制御部２００は、図６（Ａ）に示した宛先入力画面を表示し、ユーザにより、操作ボタン群１２２などが用いられて入力された宛先情報を、宛先表示領域１４２に表示し、宛先記憶部２２０に出力する。

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、宛先確認入力ボタン１４６が押下されると、図６（Ｂ）に示した確認用宛先入力画面を表示し、ユーザにより確認のために入力された宛先（確認用宛先情報）を、確定用宛先表示領域１５２に表示し、宛先記憶部２２０に出力する。

【００３５】

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図６（Ｂ）に示した確認用宛先入力画面の確定ボタン１５４が押下されると、宛先記憶部２２０に記憶された宛先情報と確認用宛先情報が一致するか否かを判断し、一致する場合は、図６（Ａ）に示した宛先入力画面を表示し、一致しない場合は、再度確認用宛先の入力を、ユーザに促す処理などを行う。

【００３６】

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、操作ボタン群１２２（図４）のスタートボタンが押下されると、受け取った送信命令を命令受付部２０２に対して出力し、送信制御部２０４の制御に従い、図６（Ａ）に示した宛先入力画面または図７（Ａ）に示した送信画面を表示する。

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図７（Ａ）に示した送信画面の中止ボタン１６４が押下されると、受け取った操作中止命令を命令受付部２０２に対して出力し、図７（Ｂ）に示した中止画面を表示する。

【００３７】

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図７（Ｂ）に示した原稿変更ボタン１６８が押下されると、図７（Ｃ）に示した原稿変更確認画面を表示する。

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図７（Ｂ）に示した継続ボタンが押下されると、送信を継続することを示す命令（継続命令）を、命令受付部２０２に対して出力し、図７（Ａ）に示した送信画面を表示する。

【００３８】

また、ＵＩ制御部２００は、図７（Ｂ）に示した中止画面において、ユーザにより、〔Ｃ〕キーが押下されると、送信をキャンセルすることを示す命令（キャンセル命令）を、命令受付部２０２に対して出力する。

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図７（Ｃ）に示したスタートボタン１７４が押下されると、受け取った原稿を変更して送信を継続することを示す命令（原稿変更後継続命令）を命令受付部２０２に対して出力し、図７（Ａ）に示した送信画面を表示する。

また、ＵＩ制御部２００は、ユーザにより、図７（Ｃ）に示したキャンセルボタン１７６が押下されると、図７（Ｂ）に示した中止画面を表示する。

【００３９】

宛先記憶部 220 は、UI 制御部 200 から入力された宛先の情報および確認用宛先の情報を記憶する。

命令受付部 202 は、UI 制御部 200 から入力された命令を送信制御部 204 に対して出力する。

具体的には、命令受付部 202 は、スタートボタン（図 4）が押下されることにより入力される送信開始命令、中止ボタン 164（図 7（A））が押下されることにより入力される中止命令、スタートボタン 174（図 7（C））が押下されることにより入力される原稿変更後継続命令、継続ボタン 170（図 7（B））が押下されることにより入力される継続命令および〔C〕キー（図 7（B））が押下されることにより入力されるキャンセル命令を、送信制御部 204 に対して出力する。

10

【0040】

送信制御部 204 は、命令受付部 202 から入力された命令に応じて、UI 制御部 200、送信部 206 および画像管理部 246 を制御する。

具体的には、送信制御部 204 は、送信開始命令が入力されたときには、宛先記憶部 220 に宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているかを確認し、記憶されているときには、画像管理部 246 に画像の読取を開始させ、送信部 206 に送信を開始させ、記憶されていないときには、UI 制御部 200 に宛先入力画面（図 6（A））を表示させる。

また、送信制御部 204 は、中止命令が入力されたときには、画像管理部 246 に画像の読取を中止させ、送信部 206 に送信を中止させる。

20

【0041】

また、送信制御部 204 は、原稿変更後継続命令が入力されたときには、画像管理部 246 に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させ、送信部 206 に送信を開始させる。

また、送信制御部 204 は、継続命令が入力されたときは、画像管理部 246 に画像の読取を再開させ、送信部 206 に送信を再開させる。

また、送信制御部 204 は、キャンセル命令が入力されたときは、画像送信プログラム 2 に初期化処理を実行させる。

送信部 206 は、送信制御部 204 の制御に従い、画像管理部 246 の画像記憶部 244 から入力された画像情報を、宛先記憶部 220 に記憶された宛先情報に基づいて、通信 IF 108 を介して、通信回線網 100 に対して送信する。

30

【0042】

画像管理部 246 の画像読取部 240 は、送信制御部 204 からの制御に従い、スキャナ 52 から入力された画像データを読み取り、画像処理部 242 に対して出力する。

画像処理部 242 は、画像読取部 240 から入力された画像データに対して、フィルタ処理および 2 値化処理等の画像処理を行い、画像記憶部 244 に対して出力する。

画像記憶部 244 は、画像処理部 242 から入力された画像処理が施された画像データを記憶し、送信制御部 204 からの制御に従い、送信部 206 に対して出力する。

【0043】

以上説明した、画像送信プログラム 2 の処理を、図 8 を参照して、さらに説明する。

図 8 は、画像送信プログラム 2 の処理（S10）を示すフローチャートである。

40

図 8 に示すように、ステップ 100（S100）において、UI 制御部 200 は、図 6（A）に示した宛先入力画面を表示し、ユーザに宛先の入力を促す。

【0044】

ステップ 102（S102）において、UI 制御部 200 は、宛先表示領域 142（図 6（A））に、ユーザにより入力された宛先を表示する。

ステップ 104（S104）において、送信制御部 204 は、ユーザにより、操作ボタン群 122 のスタートボタンが押下されることにより入力された送信開始命令を受け付ける。

【0045】

ステップ 106（S106）において、送信制御部 204 は、宛先記憶部 220 に、宛

50

先情報および確認用宛先情報が記憶されているか否かを判断する。

宛先記憶部 220 に、宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているときには、S108 の処理に進み、これ以外のときには、S100 の処理に戻る。

ステップ 108 (S108) において、送信制御部 204 は、画像管理部 246 に画像の読取を開始させ、送信部 206 に送信を開始させる。

【0046】

ステップ 110 (S110) において、送信制御部 204 は、図 7 (A) に示した送信画面を介して中止命令を受け付ける。

ステップ 112 (S112) において、送信制御部 204 は、画像管理部 246 に画像の読取を中止させ、送信部 206 に送信を中止させる。

10

【0047】

ステップ 114 (S114) において、送信制御部 204 は、図 7 (B) に示した中止画面または図 7 (C) に示した原稿変更確認画面を介して原稿変更後継続命令、継続命令またはキャンセル命令を受け付ける。

ステップ 116 (S116) において、送信制御部 204 は、受け付けた命令が、原稿変更後継続命令か否かを判断する。

受け付けた命令が、原稿変更後継続命令のときには、S118 の処理に進み、これ以外のときには、S130 の処理に進む。

【0048】

ステップ 118 (S118) において、送信制御部 204 は、画像管理部 246 に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させる。

20

ステップ 120 (S120) において、送信制御部 204 は、送信部 206 に送信を開始させる。

ステップ 122 (S122) において、画像送信プログラム 2 は、送信処理を終了する。

【0049】

ステップ 130 (S130) において、送信制御部 204 は、受け付けた命令が、継続命令か否かを判断する。

受け付けた命令が、継続命令のときには、S132 の処理に進み、これ以外のときには、S140 の処理に進む。

30

【0050】

ステップ 132 (S132) において、送信制御部 204 は、画像管理部 246 に画像の読取を再開させ、送信部 206 に送信を再開させる。

ステップ 140 (S140) において、送信制御部 204 は、画像送信プログラム 2 に初期化処理を実行させる。

【0051】

〔第 2 の実施形態〕

以下、本発明の第 2 の実施形態として、画像送信プログラム 3 を説明する。

【0052】

〔画像送信プログラム 3〕

40

以下、画像送信プログラム 3 を説明する。

図 9 は、画像送受信装置 10 で画像送信プログラム 2 の代わりに実行される画像送信プログラム 3 の構成を示す図である。

図 9 に示すように、画像送信プログラム 3 は、画像送信プログラム 2 の UI 制御部 200、命令受付部 202 および送信制御部 204 をそれぞれ UI 制御部 300、命令受付部 302 および送信制御部 304 に置き換え、画面表示記憶部 306 を加えた構成を採る。

【0053】

UI 制御部 300 は、図 6 (B) に示した宛先確認入力画面、および、図 10 および図 11 を参照して後述する画面を画面表示部 120 (図 4) に表示する。

まず、UI 制御部 300 が画面表示部 120 に表示する画面を、図 10 および図 11 を

50

参照して説明する。

【0054】

図10は、UI装置56の画面表示部120（図4）に表示される画面を示す図であって、（A）は、複数の宛先が設定された宛先入力画面を示し、（B）は、送信前宛先確認画面（宛先確認表示手段）を示し、（C）は、送信画面を示す。

図11は、画面表示部120に表示される画面を示す図であって、（A）は、送信前に図10（B）に示した宛先確認画面が表示された場合において、図10（C）に示した中止ボタンが押下されたときに表示される中止画面を示し、（B）は、送信前に図10（B）に示した宛先確認画面が表示されなかった場合において、図10（C）に示した中止ボタンが押下されたときに表示される中止画面を示し、（C）は、（A）の原稿変更ボタンが押下されたときに表示される画面（原稿変更後宛先確認画面）を示す。

10

【0055】

図10（A）に示すように、宛先入力画面は、ステータス表示領域320、宛先表示領域142、次宛先ボタン144、宛先確認入力ボタン146および複数宛先表示領域322などを含む。

ステータス表示領域320は、表示画面が宛先入力画面であることを表示し、異なる複数の宛先が設定されたことを示す。

複数宛先表示領域322は、ユーザにより入力された複数の異なる宛先を表示する。

【0056】

図10（B）に示すように、送信前宛先確認画面は、ステータス表示領域324、宛先確認領域326、スタートボタン328およびキャンセルボタン330などを含む。

20

ステータス表示領域324は、表示画面が送信前宛先確認画面であることを表示する。

宛先確認領域326は、ユーザにより入力された複数の異なる宛先を表示する。

スタートボタン328は、ユーザにより押下されることにより、送信が開始される。

キャンセルボタン330は、ユーザにより押下されることにより、送信がキャンセルされ、図10（A）に示した宛先入力画面に遷移させる。

【0057】

図10（C）に示すように、送信画面は、ステータス表示領域160、閉じるボタン162および中止ボタン332などを含む。

中止ボタン332は、ユーザに押下されることにより、図11（A）に示した中止画面または図11（B）に示した中止画面に遷移させる。

30

【0058】

図11（A）に示すように、中止画面は、ステータス表示領域166、原稿変更ボタン334および継続ボタン336などを含む。

原稿変更ボタン334は、ユーザにより押下されることにより、図11（C）に示した原稿変更後宛先確認画面に遷移させる。

継続ボタン336は、送信を継続するためのボタンであり、ユーザにより押下されると、送信は、中止された時点から再び開始され、図10（C）に示した送信画面に遷移させる。

【0059】

40

図11（B）に示すように、中止画面は、ステータス表示領域338および継続ボタン336などを含む。

ステータス表示領域338は、表示画面が中止画面であることを表示し、またユーザへの指示を表示する。

【0060】

図11（C）に示すように、原稿変更後宛先確認画面は、ステータス表示領域172、宛先確認領域340、スタートボタン342およびキャンセルボタン344などを含む。

宛先確認領域340は、ユーザにより入力された複数の異なる宛先を表示する。

スタートボタン342は、ユーザにより原稿が変更された後に押下されることにより、原稿が読み直され、送信が継続され、図10（C）に示した送信画面に遷移させる。

50

キャンセルボタン 344 は、ユーザにより押下されることにより、図 11 (A) に示した中止画面に遷移させる。

【0061】

UI 制御部 300 は、図 6 (B)、図 10 (A)、(B)、(C) および図 11 (A)、(B)、(C) に示した画面を UI 装置 56 の画面表示部 120 (図 4) に表示する。

また、UI 制御部 300 は、UI 装置 56 を介して入力された宛先を、宛先記憶部 220 に対して出力する。

また、UI 制御部 300 は、UI 装置 56 の操作ボタン群 122 および画面表示部 120 のタッチパネルなどから入力された操作命令を、命令受付部 302 に対して出力する。

また、UI 制御部 300 は、送信制御部 304 からの制御に基づいた画面を UI 装置 56 に表示する。

10

【0062】

具体的には、UI 制御部 300 は、UI 制御部 200 が図 6 (A) に示した宛先入力画面に対して行う処理と同様の処理を、図 10 (A) に示した宛先入力画面に対して行う。

つまり、図 10 (A) に示した宛先入力画面は、図 6 (A) に示した宛先入力画面に対して、複数の異なる宛先が設定されている点のみ異なる。

また、UI 制御部 300 は、UI 制御部 200 が図 6 (B) に示した確認用宛先入力画面に対して行う処理と同様の処理を行う。

【0063】

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 4 に示した操作ボタン群 122 のスタートボタンが押下されると、受け取った送信命令を命令受付部 302 に対して出力し、送信制御部 304 の制御に基づいて図 10 (B) に示した送信前宛先確認画面または図 10 (C) に示した送信画面を表示する。

20

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 10 (B) に示したスタートボタン 328 が押下されると、受け取った宛先確認後に実行された送信命令 (宛先確認後送信命令) を命令受付部 302 に対して出力し、宛先確認画面 (図 10 (B)) が起動されたことを示す情報 (宛先確認画面起動情報) を、画面表示記憶部 306 に対して出力し、図 10 (C) に示した送信画面を表示する。

【0064】

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 10 (B) に示したキャンセルボタン 330 が押下されると、図 10 (A) に示した宛先入力画面を表示する。

30

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 10 (C) に示した送信画面の中止ボタン 332 が押下されると、受け取った操作中止命令を命令受付部 302 に対して出力し、送信制御部 304 の制御に基づいて、図 11 (A) または図 11 (B) に示した中止画面を表示する。

【0065】

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 11 (A) に示した原稿変更ボタン 334 が押下されると、図 11 (C) に示した原稿変更後宛先確認画面を表示する。

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 11 (A)、(B) に示した継続ボタンが押下されると、送信を継続することを示す命令 (継続命令) を、命令受付部 302 に対して出力し、図 10 (C) に示した送信画面を表示する。

40

また、UI 制御部 300 は、図 11 (A)、(B) に示した中止画面において、ユーザにより、[C] キーが押下されると、送信をキャンセルすることを示す命令 (キャンセル命令) を、命令受付部 302 に対して出力する。

【0066】

また、UI 制御部 300 は、図 11 (C) に示した原稿変更後宛先確認画面において、スタートボタン 342 が押下されると、受け取った原稿を変更して送信を継続することを示す命令 (原稿変更後継続命令) を命令受付部 302 に対して出力し、図 10 (C) に示した送信画面を表示する。

また、UI 制御部 300 は、ユーザにより、図 11 (C) に示したキャンセルボタン 3

50

44が押下されると、図11(A)に示した中止画面を表示する。

【0067】

命令受付部302は、UI制御部300から入力された命令を送信制御部304に対して出力する。

具体的には、命令受付部302は、スタートボタン(図4)が押下されることにより入力される送信開始命令、スタートボタン328(図10(B))が押下されることにより入力される宛先確認後送信命令、中止ボタン332(図10(C))が押下されることにより入力される中止命令、継続ボタン336(図11(A),(B))が押下されることにより入力される継続命令、[C]キー(図11(A),(B))が押下されることにより入力されるキャンセル命令およびスタートボタン342(図11(C))が押下されることにより入力される原稿変更後継続命令を、送信制御部204に対して出力する。

【0068】

送信制御部304は、命令受付部302から入力された命令に応じて、送信部206および画像管理部246を制御する。

具体的には、送信制御部304は、送信開始命令が入力されたときには、宛先記憶部220に複数の異なる宛先情報宛先情報が記憶されているかを確認し、記憶されているときには、図10(B)に示した送信前宛先確認画面を表示し、記憶されていないときには、画像管理部246に画像の読取を開始させ、送信部206に送信を開始させ、UI制御部300に送信画面(図10(C))を表示させる。

【0069】

また、送信制御部304は、宛先確認後送信命令が入力されたときには、画像管理部246に画像の読取を開始させ、送信部206に送信を開始させ、UI制御部300に送信画面(図10(C))を表示させる。

また、送信制御部304は、中止命令が入力されたときには、画像管理部246に画像の読取を中止させ、送信部206に送信を中止させる。

また、送信制御部304は、中止命令が入力されたときには、画面表示記憶部306に宛先確認画面起動情報が記憶されているか否かを判断し、記憶されているときには、UI制御部300に、図11(A)に示した中止画面を画面表示部120に表示させ、記憶されていないときには、図11(B)に示した中止画面を画面表示部120に表示させる。

【0070】

また、送信制御部304は、原稿変更後継続命令が入力されたときには、画像管理部246に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させ、送信部206に送信を開始させる。

また、送信制御部304は、継続命令が入力されたときは、画像管理部246に画像の読取を再開させ、送信部206に送信を再開させる。

また、送信制御部304は、キャンセル命令が入力されたときは、画像送信プログラム3に初期化処理を実行させる。

【0071】

以上説明した、画像送信プログラム3の処理を、図12を参照して、さらに説明する。

図12は、画像送信プログラム3の処理(S20)を示すフローチャートである。

図12に示すように、ステップ200(S200)において、UI制御部300は、図10(A)に示した宛先入力画面を表示し、ユーザに宛先の入力を促す。

【0072】

ステップ202(S202)において、UI制御部300は、宛先表示領域142または複数宛先表示領域322(図10(A))に、ユーザにより入力された宛先を表示する。

ステップ204(S204)において、送信制御部304はユーザにより、操作ボタン群122のスタートボタンが押下されることにより入力された送信開始命令を受け付ける。

【0073】

ステップ 206 (S206) において、送信制御部 304 は、宛先記憶部 220 に、複数の異なる宛先情報が記憶されているか否かを判断する。

宛先記憶部 220 に、複数の異なる宛先情報が記憶されているときには、S208 の処理に進み、これ以外ときには、S210 の処理に進む。

ステップ 208 (S208) において、送信制御部 304 は、UI 制御部 300 に、送信前宛先確認画面 (図 10 (B)) を、画面表示部 120 (図 4) に表示させる。

ステップ 210 (S210) において、送信制御部 304 は、画像管理部 246 に画像の読取を開始させ、送信部 206 に送信を開始させる。

【0074】

ステップ 212 (S212) において、送信制御部 304 は、図 10 (C) に示した送信画面を介して中止命令を受け付ける。

ステップ 214 (S214) において、送信制御部 304 は、画像管理部 246 に画像の読取を中止させ、送信部 206 に送信を中止させる。

ステップ 216 (S216) において、送信制御部 304 は、画面表示記憶部 306 に宛先確認画面起動情報が記憶されているか否かを判断する。

画面表示記憶部 306 に宛先確認画面起動情報が記憶されているときには、S218 の処理に進み、これ以外ときには、S230 の処理に進む。

ステップ 218 (S218) において、送信制御部 304 は、図 11 (A) に示した中止画面または図 11 (C) に示した宛先確認画面介して原稿変更後継続命令、継続命令またはキャンセル命令を受け付ける。

【0075】

ステップ 220 (S220) において、送信制御部 304 は、受け付けた命令が、原稿変更後継続命令か否かを判断する。

受け付けた命令が、原稿変更後継続命令のときには、S222 の処理に進み、これ以外ときには、S232 の処理に進む。

【0076】

ステップ 222 (S222) において、送信制御部 304 は、画像管理部 246 に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させる。

ステップ 224 (S224) において、送信制御部 304 は、送信部 206 に送信を開始させる。

ステップ 226 (S226) において、画像送信プログラム 3 は、送信処理を終了する。

【0077】

ステップ 230 (S230) において、送信制御部 304 は、図 11 (B) に示した中止画面を介して継続命令またはキャンセル命令を受け付ける。

ステップ 232 (S232) において、送信制御部 304 は、受け付けた命令が、継続命令か否かを判断する。

受け付けた命令が、継続命令のときには、S234 の処理に進み、これ以外ときには、S240 の処理に進む。

【0078】

ステップ 234 (S234) において、送信制御部 304 は、画像管理部 246 に画像の読取を再開させ、送信部 206 に送信を再開させる。

ステップ 240 (S240) において、送信制御部 304 は、画像送信プログラム 3 に初期化処理を実行させる。

【0079】

〔第 3 の実施形態〕

以下、本発明の第 3 の実施形態として、画像送信プログラム 4 を説明する。

【0080】

〔画像送信プログラム 4〕

以下、画像送信プログラム 4 を説明する。

10

20

30

40

50

図 1 3 は、画像送受信装置 1 0 で画像送信プログラム 2 の代わりに実行される画像送信プログラム 4 の構成を示す図である。

図 1 3 に示すように、画像送信プログラム 4 は、U I 制御部 2 0 0 を U I 制御部 4 0 0 に、送信制御部 2 0 4 を送信制御部 4 0 4 に、宛先記憶部 2 2 0 を、宛先記憶部 4 2 0 に置き換えた構成を採る。

【0081】

図 1 4 は、U I 制御部 4 0 0 が画面表示部 1 2 0 (図 4) に、図 7 (C) に示した原稿変更後宛先確認画面の替わりに表示する原稿変更後宛先入力画面(宛先確認受け入れ手段)である。

図 1 4 に示すように、原稿変更後宛先入力画面は、ステータス表示領域 4 3 0、宛先表示領域 1 4 2、次宛先ボタン 1 4 4、スタートボタン 1 7 4 およびキャンセルボタン 1 7 6 などを含む。

ステータス表示領域 4 3 0 は、表示画面が原稿変更後宛先入力画面であることを表示し、またユーザへの指示を表示する。

【0082】

宛先記憶部 4 2 0 は、宛先記憶部 2 2 0 が記憶する宛先情報・確認用宛先情報に加えて、宛先が入力された手段(宛先入力手段)および後述の原稿変更後宛先情報を記憶する。

具体的には、宛先は、図 4 に示した操作ボタン群 1 2 2 のテンキー(ダイヤル)または短縮ボタンにより入力されるため、宛先記憶部 4 2 0 は、入力された宛先情報とその宛先入力手段とを関連づけて記憶する。

【0083】

U I 制御部 4 0 0 は、U I 制御部 2 0 0 の機能に対して、以下の点について改良が行われている。

U I 制御部 4 0 0 は、ユーザにより、図 7 (A) に示した送信画面の中止ボタン 1 6 4 が押下されると、宛先記憶部 4 2 0 に記憶されている確認用宛先情報を確認し、確認用宛先情報が記憶されていないときは、図 7 (B) に示した中止画面において、原稿変更ボタン 1 6 8 が選択できないようにマスクされた画面を表示する。

また、U I 制御部 4 0 0 は、宛先記憶部 4 2 0 に確認用宛先情報が記憶されているときは、図 7 (B) に示した中止画面を表示する。

【0084】

また、U I 制御部 4 0 0 は、ユーザにより、図 7 (B) に示した原稿変更ボタン 1 6 8 が押下されると、図 1 4 に示した原稿変更後宛先入力画面を表示し、ユーザに宛先の再入力を促す。

また、U I 制御部 4 0 0 は、図 1 4 に示した原稿変更後宛先入力画面においてユーザにより入力された宛先(原稿変更後宛先情報)を宛先記憶部 4 2 0 に対して出力する。

【0085】

送信制御部 4 0 4 は、送信制御部 2 0 4 の機能に対して、以下の点について改良が行われている。

送信制御部 4 0 4 は、送信開始命令が入力されたときには、宛先記憶部 4 2 0 に記憶されている宛先入力手段を確認し、ダイヤルにより宛先が入力されていると判断したときは、確認用宛先情報が記憶されているときのみ、画像管理部 2 4 6 に画像の読取を開始させ、送信部 2 0 6 に送信を開始させ、確認用宛先情報が記憶されていないときには、U I 制御部 4 0 0 に宛先入力画面(図 6 (A))を表示させる。

【0086】

また、送信制御部 4 0 4 は、短縮ボタンにより宛先が入力されているときには、確認用宛先情報が記憶されていなくても、画像管理部 2 4 6 に画像の読取を開始させ、送信部 2 0 6 に送信を開始させる。

また、送信制御部 4 0 4 は、原稿変更後継続命令が入力されたときには、宛先記憶部 4 2 0 に記憶された宛先情報が原稿変更後宛先情報と一致するか否かを判断し、一致する場合は、画像管理部 2 4 6 に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させ、送信部 2 0

10

20

30

40

50

6 に送信を開始させ、一致しない場合は、図 1 4 に示した原稿変更後宛先入力画面を表示する。

【0087】

以上説明した、画像送信プログラム 4 の処理を、図 1 5 を参照して、さらに説明する。

図 1 5 は、画像送信プログラム 4 の処理 (S 3 0) を示すフローチャートである。

図 1 5 に示すように、ステップ 3 0 0 (S 3 0 0) において、U I 制御部 4 0 0 は、図 6 (A) に示した宛先入力画面を表示し、ユーザに宛先の入力を促す。

【0088】

ステップ 3 0 2 (S 3 0 2) において、U I 制御部 4 0 0 は、宛先表示領域 1 4 2 (図 6 (A)) に、ユーザにより入力された宛先を表示する。

ステップ 3 0 4 (S 3 0 4) において、送信制御部 4 0 4 は、ユーザにより、操作ボタン群 1 2 2 のスタートボタンが押下されることにより入力された送信開始命令を受け付ける。

【0089】

ステップ 3 0 6 (S 3 0 6) において、送信制御部 4 0 4 は、宛先記憶部 4 2 0 に記憶されている宛先入力手段を確認し、ダイヤルにより宛先が入力されているか否かを判断する。

ダイヤルにより宛先が入力されているときには、S 3 0 8 の処理に進み、これ以外の場合には、S 3 1 0 の処理に進む。

【0090】

ステップ 3 0 8 (S 3 0 8) において、送信制御部 4 0 4 は、宛先記憶部 4 2 0 に、宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているか否かを判断する。

宛先記憶部 4 2 0 に、宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているときには、S 3 1 0 の処理に進み、これ以外の場合には、S 3 0 0 の処理に戻る。

ステップ 3 1 0 (S 3 1 0) において、送信制御部 4 0 4 は、画像管理部 2 4 6 に画像の読取を開始させ、送信部 2 0 6 に送信を開始させる。

【0091】

ステップ 3 1 2 (S 3 1 2) において、送信制御部 4 0 4 は、図 7 (A) に示した送信画面を介して、中止命令を受け付ける。

ステップ 3 1 4 (S 3 1 4) において、送信制御部 4 0 4 は、画像管理部 2 4 6 に画像の読取を中止させ、送信部 2 0 6 に送信を中止させる。

【0092】

ステップ 3 1 6 (S 3 1 6) において、送信制御部 4 0 4 は、宛先記憶部 4 2 0 に宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているか否かを判断する。

宛先記憶部 4 2 0 に宛先情報および確認用宛先情報が記憶されているときには、S 3 1 8 の処理に進み、これ以外の場合には、S 3 4 0 の処理に進む。

ステップ 3 1 8 (S 3 1 8) において、U I 制御部 4 0 0 は、図 7 (B) に示した中止画面を介してユーザによる操作を受け付ける。

【0093】

ステップ 3 2 0 (S 3 2 0) において、U I 制御部 4 0 0 は、原稿変更ボタン 1 6 8 のボタンが押下されたか否かを判断する。

原稿変更ボタン 1 6 8 のボタンが押下されたときには、S 3 2 2 の処理に進み、これ以外の場合には、S 3 4 2 の処理に進む。

【0094】

ステップ 3 2 2 (S 3 2 2) において、U I 制御部 4 0 0 は、図 1 4 に示した宛先入力画面を表示し、ユーザに宛先の入力および原稿変更後継続命令の指示を促す。

ステップ 3 2 4 (S 3 2 4) において、送信制御部 4 0 4 は、宛先記憶部 4 2 0 に記憶された宛先情報が原稿変更後宛先情報と一致するか否かを判断する。

宛先記憶部 4 2 0 に記憶された宛先情報が原稿変更後宛先情報と一致するときには、S 3 2 6 の処理に進み、これ以外の場合には、S 3 2 2 の処理に戻る。

10

20

30

40

50

【0095】

ステップ326（S326）において、送信制御部404は、画像管理部246に初期化処理をさせた後に、画像の読取を開始させる。

ステップ328（S328）において、送信制御部404は、送信部206に送信を開始させる。

ステップ330（S330）において、画像送信プログラム4は、送信処理を終了する。

【0096】

ステップ340（S340）において、送信制御部404は、図7（B）に示した中止画面において、原稿変更ボタン168のボタンがマスクされた画面を介して継続命令またはキャンセル命令を受け付ける。

ステップ342（S342）において、送信制御部404は、受け付けた命令が、継続命令か否かを判断する。

受け付けた命令が、継続命令のときには、S344の処理に進み、これ以外のときには、S350の処理に進む。

【0097】

ステップ344（S344）において、送信制御部404は、画像管理部246に画像の読取を再開させ、送信部206に送信を再開させる。

ステップ350（S350）において、送信制御部404は、画像送信プログラム4に初期化処理を実行させる。

【図面の簡単な説明】

【0098】

【図1】本発明にかかる画像送受信システムの構成を例示する図である。

【図2】図1に示した画像送受信装置のハードウェア構成を例示する図である。

【図3】図2に示した制御装置の構成を例示する図である。

【図4】図2に示したUI装置の構成を示す図である。

【図5】画像送受信装置で実行される画像送信プログラムの構成を示す図である。

【図6】UI装置の画面表示部（図4）に表示される画面を示す図である。

【図7】画面表示部に表示される画面を示す図である。

【図8】画像送信プログラムの処理（S10）を示すフローチャートである。

【図9】画像送受信装置で実行される画像送信プログラムの構成を示す図である。

【図10】UI装置の画面表示部（図4）に表示される画面を示す図である。

【図11】画面表示部に表示される画面を示す図である。

【図12】画像送信プログラムの処理（S20）を示すフローチャートである。

【図13】画像送受信装置で実行される画像送信プログラムの構成を示す図である。

【図14】UI制御部が画面表示部（図4）に、図7（C）に示した原稿変更後宛先確認画面の替わりに表示する原稿変更後宛先入力画面である。

【図15】画像送信プログラムの処理（S30）を示すフローチャートである。

【符号の説明】

【0099】

- 1・・・画像送受信システム
- 10・・・画像送受信装置
- 100・・・通信回線網
- 102・・・CPU
- 104・・・メモリ
- 106・・・記憶装置
- 108・・・通信IF
- 110・・・システムバス
- 120・・・画面表示部
- 122・・・操作ボタン群

10

20

30

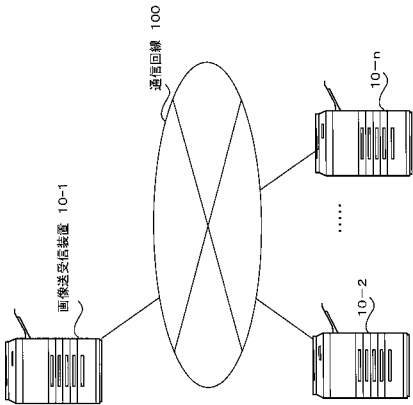
40

50

1 4 0 . . .	ステータス表示領域	
1 4 2 . . .	宛先表示領域	
1 4 4 . . .	次宛先ボタン	
1 4 6 . . .	宛先確認入力ボタン	
1 5 0 . . .	ステータス表示領域	
1 5 2 . . .	確定用宛先表示領域	
1 5 4 . . .	確定ボタン	
1 6 0 . . .	ステータス表示領域	
1 6 2 . . .	閉じるボタン	
1 6 4 . . .	中止ボタン	10
1 6 6 . . .	ステータス表示領域	
1 6 8 . . .	原稿変更ボタン	
1 7 0 . . .	継続ボタン	
1 7 2 . . .	ステータス表示領域	
1 7 4 . . .	スタートボタン	
1 7 6 . . .	キャンセルボタン	
1 7 8 . . .	宛先確認領域	
1 2 . . .	画像形成装置本体 1 2	
1 4 . . .	画像読取装置 1 4	
1 6 . . .	後処理装置	20
2 0 . . .	用紙供給部 2 0	
2 2 . . .	供給ヘッド 2 2	
2 4 . . .	用紙搬送路 2 4	
2 6 . . .	像形成部 2 6	
2 8 . . .	像保持体 2 8	
3 0 . . .	帯電ロール 3 0	
3 2 . . .	レーザ書込み装置 3 2	
3 4 . . .	現像装置	
3 6 . . .	転写ロール 3 6	
3 8 . . .	クリーナ 3 8	30
4 0 . . .	定着装置 4 0	
4 2 . . .	用紙排出路 4 2	
4 6 . . .	反転装置 4 6	
4 8 . . .	用紙反転路 4 8	
5 0 . . .	自動原稿送り装置 5 0	
5 2 . . .	スキャナ	
5 4 . . .	プラテン	
5 6 . . .	入力・表示 (U I) 部 5 6	
5 8 . . .	ステーブラ 5 8	
6 0 . . .	パンチャ 6 0	40
6 2 . . .	分配路 6 2	
6 4 . . .	ピン 6 4	
6 6 . . .	搬送路 6 6	
6 8 . . .	コンパイラトレイ 6 8	
7 0 . . .	スタッカ 7 0	
7 2 . . .	ソータ 7 2	
2 . . .	画像送信プログラム	
2 0 0 . . .	U I 制御部	
2 0 2 . . .	命令受付部	
2 0 4 . . .	送信制御部	50

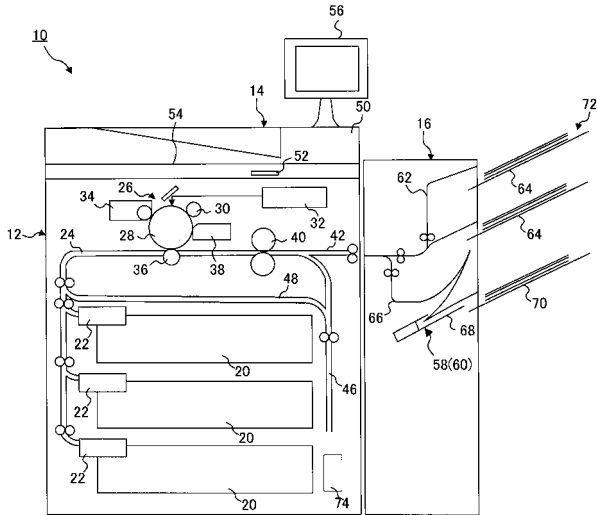
2 0 6 . . . 送信部	
2 2 0 . . . 宛先記憶部	
2 4 6 . . . 画像管理部	
2 4 0 . . . 画像読取部	
2 4 2 . . . 画像処理部	
2 4 4 . . . 画像記憶部	
3 . . . 画像送信プログラム	
3 0 0 . . . U I 制御部	
3 0 2 . . . 命令受付部	
3 0 4 . . . 送信制御部	10
3 0 6 . . . 画面表示記憶部	
3 2 0 . . . ステータス表示領域	
3 2 2 . . . 複数宛先表示領域	
3 2 4 . . . ステータス表示領域	
3 2 6 . . . 宛先確認領域	
3 2 8 . . . スタートボタン	
3 3 0 . . . キャンセルボタン	
3 3 2 . . . 中止ボタン	
3 3 4 . . . 原稿変更ボタン	
3 3 6 . . . 継続ボタン	20
3 3 8 . . . ステータス表示領域	
3 4 0 . . . 宛先確認領域	
3 4 2 . . . スタートボタン	
3 4 4 . . . キャンセルボタン	
4 3 0 . . . ステータス表示領域	
4 . . . 画像送信プログラム	
4 2 0 . . . 宛先記憶部	
4 0 0 . . . U I 制御部	
4 0 4 . . . 送信制御部	

【図 1】

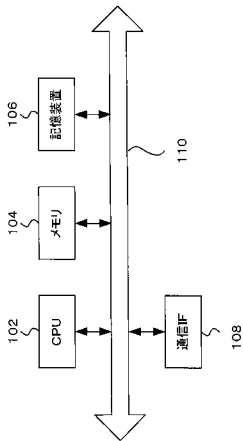


画像送信システム

【図 2】

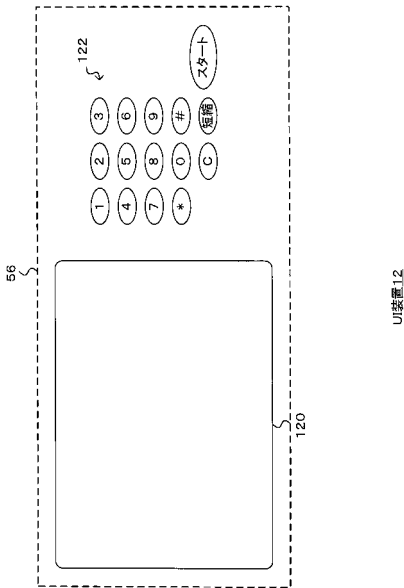


【図 3】



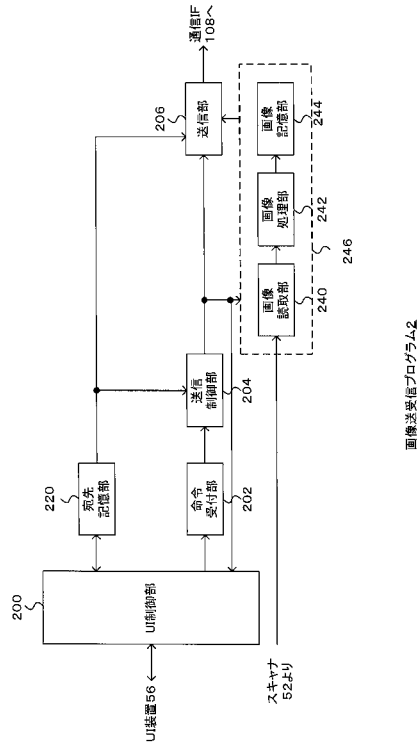
ハードウェア10

【図 4】

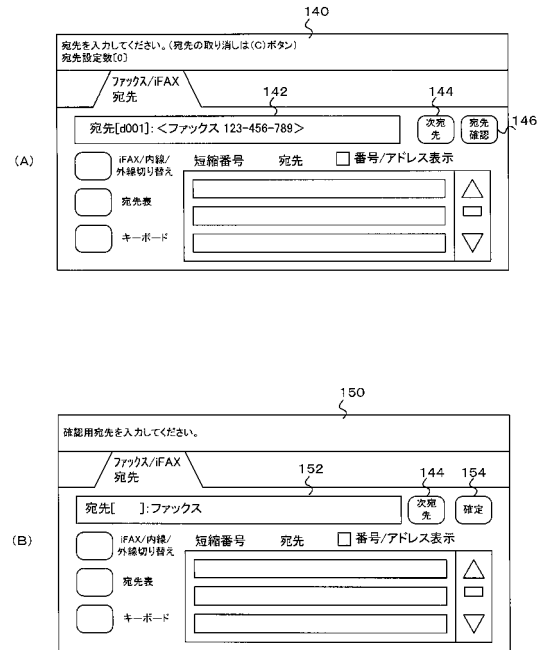


UI装置12

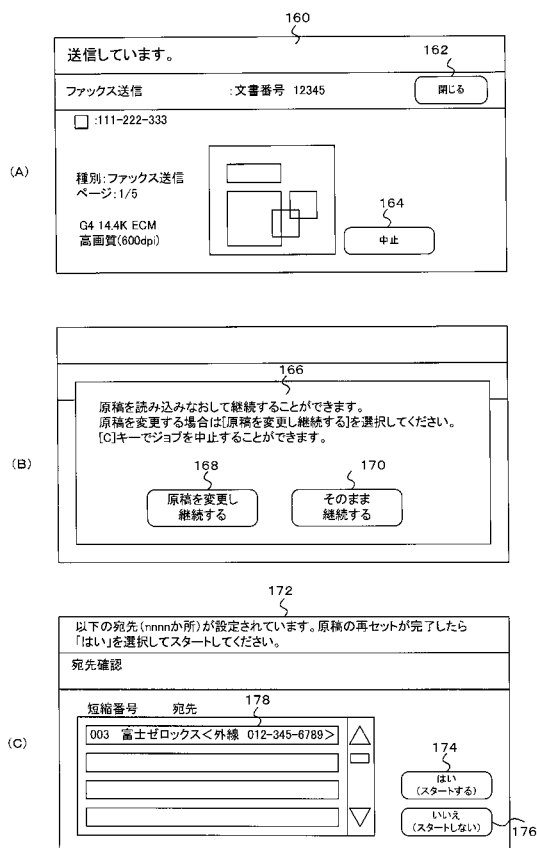
【図 5】



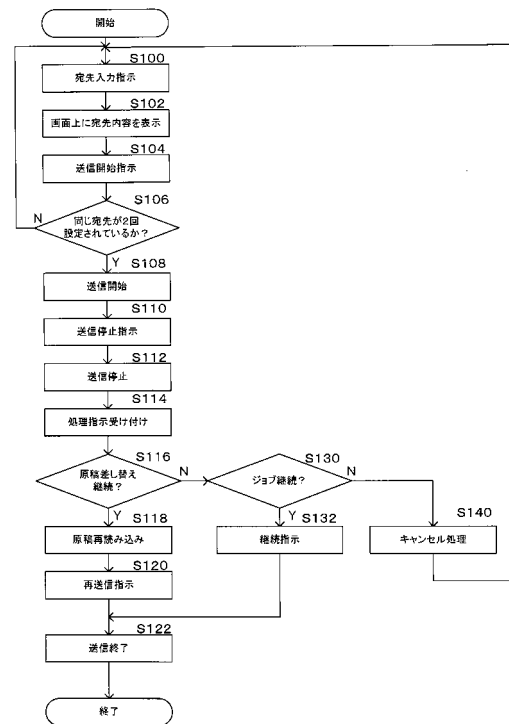
【図 6】



【図 7】

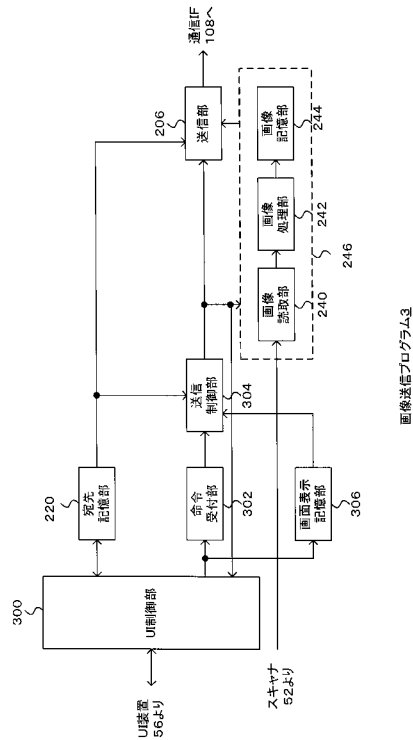


【図 8】

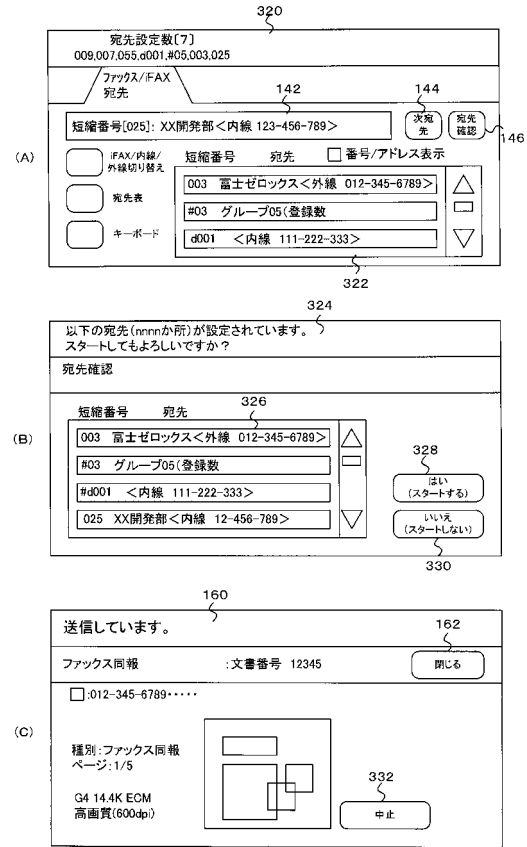


S10

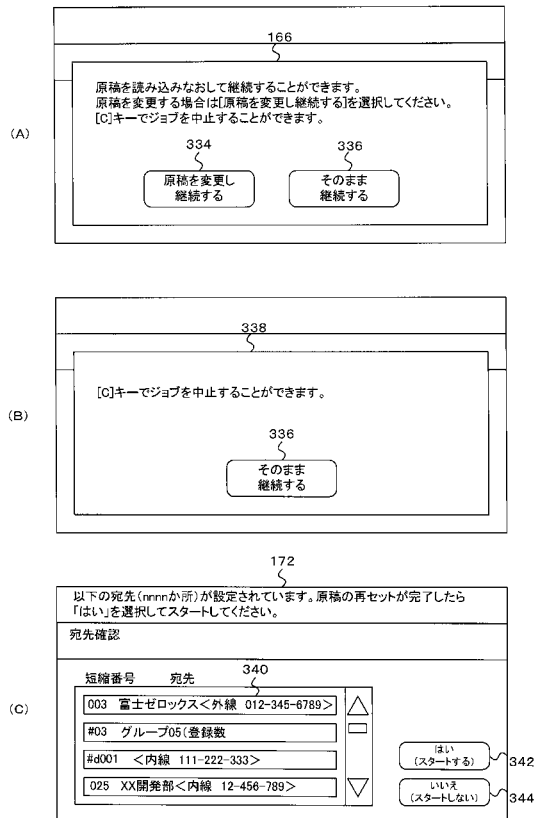
【図 9】



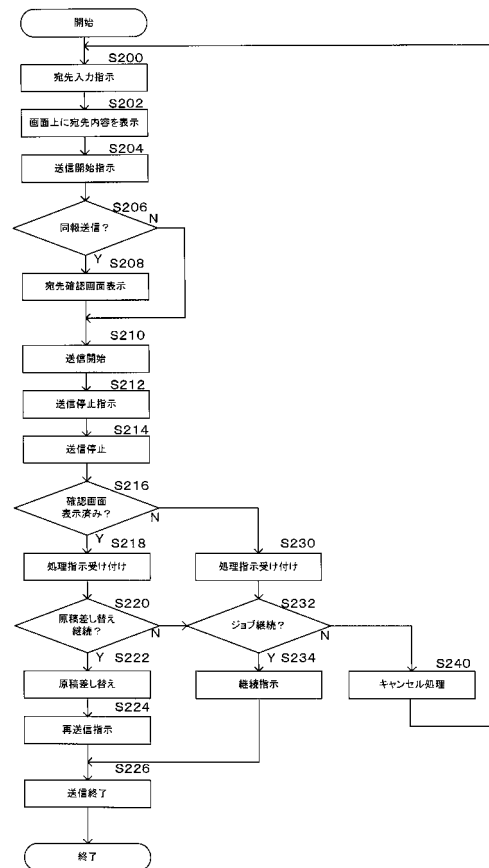
【図 10】



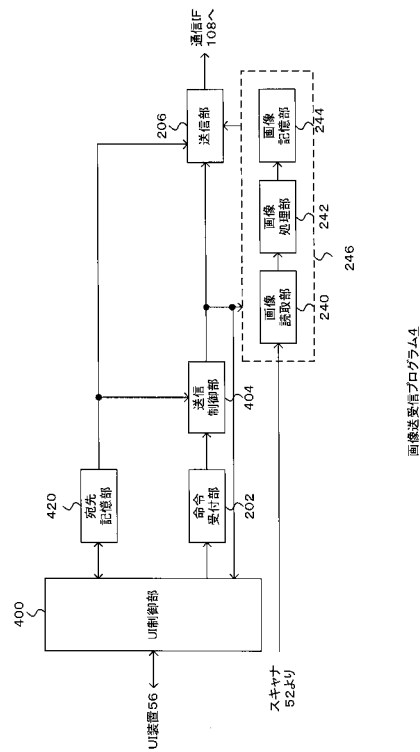
【図 11】



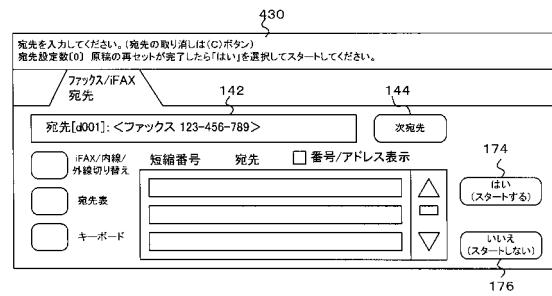
【図 12】



【 図 1 3 】



【図 14】



【图 15】

